



平成29年12月27日

発行 長野市立篠ノ井東中学校

人にやさしく、自分によさ
篠ノ井東中学校 創立55周年記念号、平成29年度第7号 印刷数100部

〒380-8003 長野市篠ノ井小森 840 TEL 0262-292-0135 FAX 0262-292-0637
http://www.ngano-ngn.ed.jp/shinoh.jh/ E-mail shinonoihigashi@jh-naganongn-ed.jp

2学期終了 - 84日間の日々 -

充実した2学期そして平成30年

8月29日(金)にスタートした84日間の2学期が本日で終了します。The Voice of Friendship ~今この瞬間を奏でよう仲間と共に~ のテーマのもとに行われた第52回桐章祭をはじめ、堂々とした歌声を披露した3年生の長野上水内連合音楽会、キャリア教育の第一歩ともいえる1年生の職場見学など様々な行事が行われました。そして、過日行われた生徒総会は、3年生としてのまとめであり、2年生へ生徒会が引継がれていく第一歩となりました。

各学年が日々の学習を中心に充実した生活を送った2学期であったと思います。本日の終業式で、学年代表として発表してくれた1年 藤澤斗藍君、2年 伊藤佑芽さん、3年 齋藤伊子さんの各発表内容もそれぞれが臨んだ2学期に対する思いと新年・3学期に向けての決意が述べられていました。間もなく迎える平成30年が皆さんにとってさらに充実した年になるよう願っております。



【長野上水内中学校連合音楽会】



【生徒総会】



国際理解特別授業



現在、岡谷北部中学校でご活躍の清水愛先生にご講演いただきました。先生は平成26年まで本校の英語教師として教鞭をとられ、その後、JICAの国際協力活動に参加し、ホンジュラスの小学校で算数の指導などを2年間にわたって行われていました。発展途上国であるため、日本では常識である電気・水道などのインフラの整備は不十分で、生活面でも苦労されていました。写真や映像を交えた先生の説明は分かりやすく、このような国で援助活動をする先生の意志の強さに感動すると共に、世界にはまだまだ発展途上の国が数多くあることに改めて気づかされました。一方、写真や映像に出てくる子供達や現地の人々の明るく、生命力に満ちあふれた笑顔が大変印象的でした。

第2回みがき隊

第2回みがき隊の活動が12月4日(月)の保護者懇談会の際に実施されました。前回は10月18日(水)に整美委員会の呼びかけで集まった70名を超える生徒の皆さんが理科室の床磨きをしてくださいましたが、今回はそれを上回る80名余の応募があり、理科室、南校舎トイレ、桐輝館(体育館)トイレなどに分かれ、1時間余りに渡って、みがき清掃に没頭していました。前回同様、清掃後の床や便器は汚れが落とされ、各分担当場所が、明るくなりました。自主的に集まった生徒の皆さんの熱意とみがき清掃に没頭する姿に感動しました。

昨日、一昨日共に全校での大掃除が行われましたが、このような取り組みにより、きれいを広げるという意識が全校に広がっていくといいですね。



第2回みがき隊

11月の校長講話より



2学期に入り、嬉しいことが沢山ありました。その中から、2つ紹介します。
10月18日の放課後、整美委員会の呼びかけに応え、「みがき隊」に参加してくれた人が沢山いました。「みがき隊」の皆さんは、理科室の床を一生懸命に磨いてくれました。『みがき隊』に参加して、良かった。まだ汚れているところがあるので、次も参加したい。すごくきれいになり、成果が出たので嬉しかった」という感想も聞かれました。2回目の計画もあるようです。次回は、私も参加したいと思います。(12月4日に実施)

また、11月4日に行われました「千曲川河川敷清掃」にも、大勢の皆さんが参加してくれました。地域の方々もとても喜んでくれていました。更に、毎日の掃除も、黙想から、無言清掃へと、真剣に取り組んでいる人も増えてきています。嬉しいです。

そこで、今日は、みなさんに、中国の古い書物、2000年程前に書かれた「荀子」という書物の中に、出てくる言葉を紹介します

「蓬麻中に生ずれば、扶けずして自ら直し」

皆さんは、蓬を知っていると思います。小学校時代には、蓬団子を作った人も多いと思います。その蓬ですが、くねくねとねじれたり、曲がったりして成長していきます。それに対して、麻ですが、最近は見ることができませんが、まっすぐに2~3m近く伸びる植物です。そんな植物の特徴を用いたこの言葉は、「曲がって成長する蓬も、真っすぐに成長する麻の畑の中で育つと、何もなくても自分からまっすぐに伸びていく」という意味です。

蓬や麻を人間に置き換えてみると、同じようなことが言えると思います。人間には、過ちを犯しそうなったり、わがままを押し通そうとしたりする弱い心は誰にでもあります。また、目標を見失い、投げやりになってしまう時もあります。しかし、こういう蓬にたとえられるような状況の時でも、まっすぐ天に向けて伸びようがんばっている、麻のような仲間の中で生活していると、いつのまにか仲間の影響を受けて、自ら元気になり、まっすぐにもなり、目標に向けて力強く生きていけるようになります。

更に、学級や学年も同様です。そこで学ぶ皆さんが、麻のように、目標に向け、力強く生きようとしていると、時に、くじけそうになったり、横道にそれそうになったりしても、また、前を向き、正々堂々と精一杯生きて行けるようになります。

ぜひ、皆さんのクラスも、この言葉のようなクラスになってほしいと思います。

クラスを麻の畑にするために、3つのことを提案します。

1 批正できるクラス(勇氣)
友だちが間違っことをしたり、或いはよくない方へ向かおうとしていたりしたら、「それはいけない」と忠告できるクラスでありたいと思います。互いに「批正」できるクラスでありたいです。それには、勇氣が必要ですね。友だちのことを思い、勇氣を出して伝えようではありませんか。見て、見ぬふりは一番いけないと思います。

2 共感できるクラス(寛容)
友だちに嬉しいことがあったら、心から喜んであげる。逆に辛いこと、悲しいことがあったら、自分のこととして、話を聞いてあげるといいですね。そんな共感できるクラスでありたいと思います。それには、相手の気持ちを受け止められる寛容な心が必要です。

3 共に歩むクラス(協調)
クラスには、様々なことがあります。時には、喧嘩をすることもあるでしょう。また、いじわるをされて、もう話したくないと思う時もあるかもしれません。でも、クラスメイトは、今を共に生きている仲間です。ぜひ、友達を見捨てないでほしいと思います。いつかは、気づいてくれると思います。共に歩み、共に困難に立ち向かってほしいと思います。それには、協調性が必要だと思います。

さて、この言葉は、対句になっていて、次の言葉が続きます。

「白砂泥中にありて、是と皆黒し」

これは、「真っ白い砂が泥の中にあると、その黒い泥と混ざってしまっ、みんな真っ黒くなってしまう」という意味の言葉です。ぜひ、クラスや学年、そして部活動の部は、泥中であってはならないと思います。

折しも、生徒会選挙を控え、学校のこと、学年のこと、クラスのことをいろいろと考える時期です。

集団をより良くするにはどうしたらいいのか、皆さん一人一人に考えてほしいと思います。



1月の主な行事

○ 3 学期始業式	【 9 日 (火) 】	
○ 2 年活用問題調査	【 11 日 (木) 】	
○ 3 年第 5 回総合テスト	【 11 日 (木) 】	
○ 3 年授業参観日・学年学級 P T A	【 18 日 (木) 】	
○ 発育測定	【 3 年 16 日 (火) 2 年 24 日 (水) 1 年 29 日 (月) 】	

保護者の皆様へ

2 学期は本日で終了となります。1 2 月 2 8 日 (木) ~ 1 月 8 日 (月) までの 1 2 日間は年末年始休業となります。過日、「年末年始休業中の生活の決まり」を配布し、学校でも指導しましたが、ご家庭でもご確認いただき、声がけ等していただければと思います。特にこの休みは、お子様と共に生活する時間が増えると思いますので、学校のこと・学習のこと・友人のこと・・・など、お子様と話をする機会を増やしていただければ幸いです。良いお年をお迎えください。

